

分科会2

「退院したい」と思えるために ～ピアサポーターと地域移行支援～

ファシリテーター：田中直樹（NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会／NPO 法人あおば福祉会）
行實志都子（神奈川県立保健福祉大学）
スピーカー：下村明子・長谷川七恵・小林信匡（社会福祉法人 巢立ち会）
コーディネーター：古屋龍太（日本社会事業大学）
中越章乃（神奈川県立保健福祉大学）

今年度の分科会の様子をご報告します。

コーディネーターより、この分科会の趣旨説明と平成 24 年度から始まった個別給付化による全国的な影響について簡単にご報告させていただきました。

これまでの地域移行に関連した施策の流れや都道府県格差について、そして、今何が起きているのかを共有させていただきました。これらは後の議論の種にもなったのではないかと思います。

続いて、社会福祉法人巢立ち会の皆さんから実践報告をいただきました。

小林さんより巢立ち会の概要や取り組みについて、特色あるその支援方針を存分にご紹介いただきました。そのうえで長谷川さんから、巢立ち会のある三鷹市の地域移行の現状や巢立ち会が大事にしていることについてご報告をいただきました。最後に下村さんからは、これまでピアサポーターとして多くの利用者の方の支援をしてこられたご経験を語っていただきました。下村さんの穏やかな語り口からは、ご本人の可能性を信じながらゆっくり丁寧に寄り添ってこられた姿を窺い知ることができました。

続いてこれらの報告をもとに、各グループで自分の立場でできることは何かについて意見交換を行いました。入院経験がある方は自身の退院に至る経過や未だ病棟に残る仲間への思いを、支援経験がある方は支援の中で課題と感じたことややりがいを、そしてこれからピアサポーターや支援者を目指す方はそのきっかけとなった出来事や心配になっていることなどを出し合って、グループの時間を終えることができました。

自己紹介と感想を伝えるだけでも時間がかかってしまい、なかなか本題に入れないグループもありました。

それでも全体共有の時間に各グループから報告を出し合うことで、他のグループでどのような話が出ていたのか、お互いに共有できたのではないかと思います。

今年は初参加の方がとても多く、ピア活動に関心のある方、これからピアサポーターを目指す方も多く含まれていたのではないかと思います。

来年度も新しい参加者を迎えながら大きな輪を作っていきたいと考えています。

《中越章乃（神奈川県立保健福祉大学）》